

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2023年5月7日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃美歌216「ああうるわしき」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃美歌338「主よ終わりまで」	一 同
教会学校	「エルサレムをたて直す」	牧 師
讃 美	讃美歌501「いのちのみことば」	一 同
聖書朗読	エゼキエル44:1-3	
奨 励	エゼキエル書の福音(第16回)	牧 師
主 題	「復興のソフトウェア」	
讃 美	讃美歌313「この世のつとめ」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃美歌541「父、御子、御霊の」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	エゼキエル書第 47,48 章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



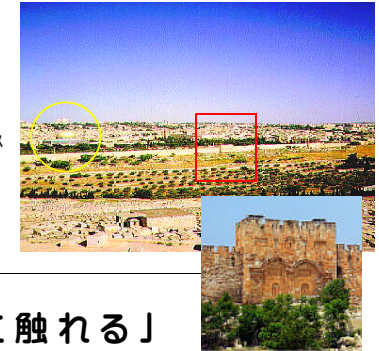
《今週の歩み》

5/7(日)聖日礼拝
/8(月)
/9(火)
/10(水)10-12:00BSクラス
/11(木)10:00祈り会
/12(金)
/13(土)13:子供オプンハウス

《祈りの課題》

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

《エルサレムの黄金門》



良書ハイライト

「キリストに触れる」

神様を愛すると言いながら困っている人を助けられないならば、神を愛したことにはならない。そして、隣り人だから仕えるのではなく、仕えるから「隣り人になる」ということであり、それこそが、神を愛するということの意味なのです。

このことは、生涯を「良きサマリヤ人」のように生きたマザー・テレサを思い起こさせます。「貧しい人の中でも最も貧しい人の救済」に生涯を捧げたマザー・テレサは、その働きゆえに1979年にノーベル平和賞も受賞し、1997年に召されました。国民の85パーセントがヒンズー教徒といわれるインドで、カトリック式の国葬が行われたことからみても、彼女がいかに特別な存在であったかがうかがわれます。日本に彼女を紹介し、二十三年間にわたって交流を続けた写真家の沖守弘さんが次のように言っています。

「私たちにはマザーの行いは“貧しい人を助けている”としか見えない。しかし、マザーやシスターたちは、病気の老人や捨てられた子どもの中に神様を見ているのです。だから貧しい人に仕えることは神に仕えること。神に一生を捧げた彼女たちには、これは大きな喜びなのです。具体的なエピソードを挙げましょう。行き倒れて瀕死の人たちが運ばれてくる『死を待つ人の家』に、痩せ細り意識のない老人が一人、運び込まれました。マザーはこうした死にかけている人も、いつも平等に温かく迎え入れます。まず体を洗ってやり、粗末だけれど清潔な寝間着に着替えさせました。それから食事や薬を与え、できる限りのお世話をします。その老人を運び込んだヒンズー教徒の男性が、マザーの懸命な介護の様子を見て言いました。『あなたをここまで働かせる宗教(キリスト教)は本物に違いない。』マザーは答えました。『そうです。私はいまキリストのお体に触れているのです。』」